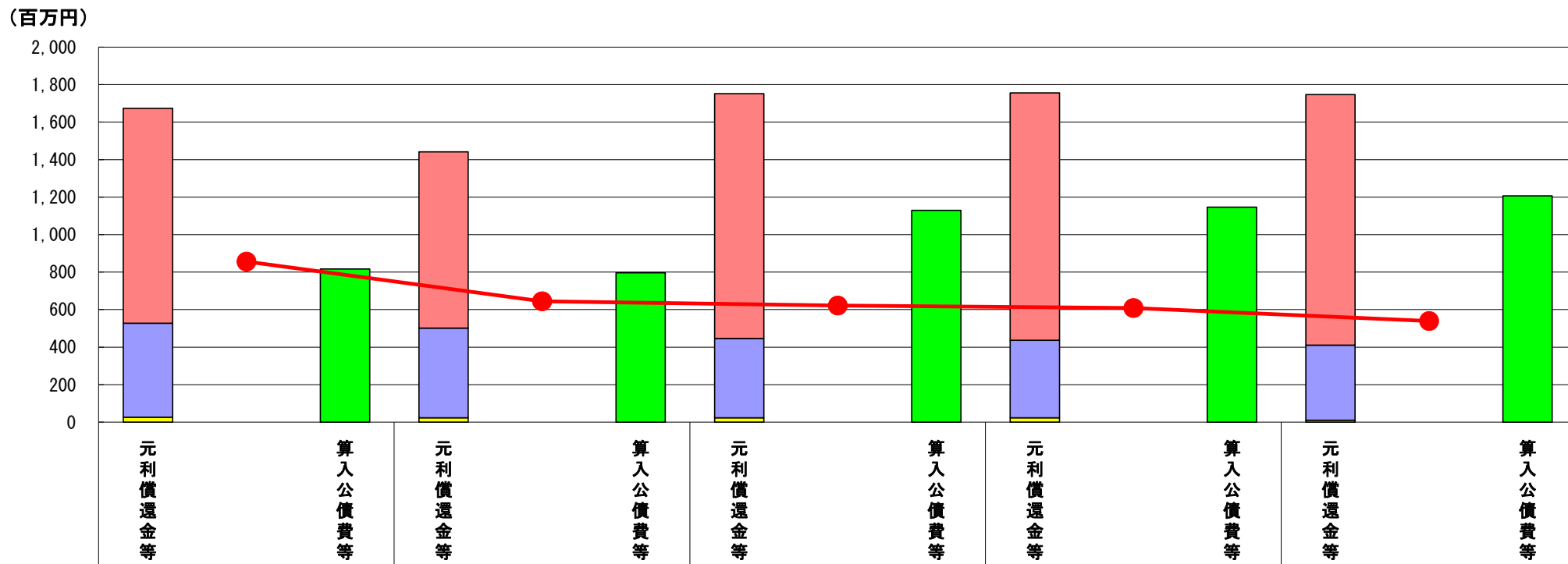


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

大阪府島本町



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,146	940	1,305	1,319	1,336
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		501	478	423	413	400
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		27	24	24	24	11
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		817	797	1,130	1,147	1,207
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		857	645	622	609	540

分析欄

前年度比0.8ポイント改善し11.4%となった。この要因は、繰出基準額のうち雨水処理に要する経費、分流式下水道等に要する経費、下水道事業債（特例措置分）の償還に要する経費等が減ったことによるものである。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。